

「この大石は、真坂の主になりたいのだから、このまま、動かさないほうがいいだろう。」と、道のまん中にそのままおいていったそうです。

しかし、ここには、不心得者ののんべえ夫婦がいました。その晩、酒によって千鳥足で歩いてくると、この大石にさつそくぶ

つかりました。そして、「なんだなんだ、じゃまな石だ。おれさまのおとおりを知らないか。」と、夫婦はこの石をののしり、ぼうげんのかぎりをつくし、おまけにジャージャーと小便をかけ、意気ようようときあげていったそうです。

ところが、夫婦が家に帰ってねようとする、急にへんなところが痛みだし、子供ができない病気になるてしまいました。しかも、あの大石に悪いことをした時間にな

